

釧路工業高等専門学校	開講年度	令和02年度(2020年度)	授業科目	ソフトコンピューティング特論
------------	------	----------------	------	----------------

科目基礎情報

科目番号	0036	科目区分	専門 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	建設・生産システム工学専攻	対象学年	専2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	テキスト: 必要な資料を配付する。参考書: 福田敏男著「インテリジェントシステム」(昭晃堂) 講座ファジイ1巻 ~14巻日本ファジイ学会編日刊工業新聞社		
担当教員	高木 敏幸		

到達目標

一般的な集合とファジイ集合の違いを理解し、ファジイ理論における演算方法を記述できる。
ファジイ推論を用いた制御方法を設計できる。
ニューラルネットワークをコンピュータ上にモデル化する方法について説明できる。

ループリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	一般的な集合とファジイ集合の違いを理解し、ファジイ理論における演算方法を記述できる。	一般的な集合とファジイ集合の違いを理解し、ファジイ理論における演算方法を記述できる。	一般的な集合とファジイ集合の違いを理解し、ファジイ理論における演算方法を記述できない。
評価項目2	ファジイ推論を用いた制御方法を設計できる。	ファジイ推論を用いた制御方法を設計できる。	ファジイ推論を用いた制御方法を設計できない。
評価項目3	ニューラルネットワークをコンピュータ上にモデル化する方法について説明できる。	ニューラルネットワークをコンピュータ上にモデル化する方法について説明できる。	ニューラルネットワークをコンピュータ上にモデル化する方法について説明できない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 C 学習・教育到達度目標 D
JABEE d-1 JABEE d-2 JABEE d-3 JABEE d-4

教育方法等

概要	ソフトコンピューティングとは、従来の計算手法では扱いが難しい不正確・不確実な要素を許容して、問題を解決するための計算手法を包括した研究分野です。ソフトコンピューティング技術を用いることで、あいまいな情報や不完全な情報、また、状況によって変化する情報を、柔軟に処理することができます。この授業では、ソフトコンピューティングの代表的な計算手法である、ファジイ理論、ニューラルネットワークの基礎と計算機上での実装について学び、また、これらの手法がどのように応用されるのかを学びます。
授業の進め方・方法	講義形式で行う。本科目では、ファジイ理論、ニューラルネットワーク、ソフトコンピューティング技術を中心に講義と演習を行い、これらの基本的な考え方について理解する。
注意点	事前に配布した資料を持参すること。 専攻科1 年後期の「多変量解析」の履修が望ましい。

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1週	ファジイ集合とクリスピ集合	ファジイ集合とクリスピ集合の違いを説明できる。
	2週	ファジイ集合の演算	ファジイ理論の概要を説明できる。ファジイ集合の演算ができる。
	3週	プロダクションルールとプロダクションシステム	プロダクションルールとプロダクションシステムを説明できる。
	4週	ファジイ関係	ファジイ関係について説明できる。
	5週	ファジイ合成	ファジイ合成について説明できる。
	6週	Mamdaniによるファジイ推論	Mamdaniによるファジイ推論を説明できる。
	7週	ファジイ制御	ファジイ制御について説明できる。
	8週	中間試験: 実施する	
2ndQ	9週	簡略型ファジイ推論	簡略型ファジイ推論を説明できる。
	10週	学習型ファジイ推論	学習型ファジイ推論を説明できる
	11週	ニューラルネットワークの概要	ニューラルネットワークの概要を説明できる。
	12週	誤差逆伝播法	誤差逆伝播法を説明できる。
	13週	自己組織化マップ	自己組織化マップを説明できる。
	14週	深層学習	深層学習を説明できる。
	15週	総まとめ	
	16週	期末試験: 実施する	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	70	0	0	0	30	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0